

政策ニーズに即した統計調査の実施

農林水産業の構造改革、農業環境・資源保全政策、消費者重視の食料供給・消費システムの確立に資する統計調査を的確に実施する。

13,704(15,450)百万円

1 構造改革の推進に資する経営・構造統計の着実な実施

- (1) 我が国農林業の生産構造及び就業構造等を把握するため、平成17年2月に実施した2005年農林業センサスの結果について公表。
- (2) 農業経営政策の的確な推進に資するため、地域・営農類型別の農業経営の実態について調査し、公表。
- (3) 漁業構造の変化を反映した標本設計により、漁業経営体の財産状況、収支状況等の経営実態を把握。

2 農業環境・資源保全政策の展開に即した統計の充実

- (1) グリーン・ツーリズム等都市と農山漁村を結ぶ様々な活動を支援するための施策の推進に資するため、農林漁業体験民宿の経営形態、経営状況、今後の意向等を把握。
- (2) 2005年農林業センサスとして、農業集落の集落機能やコミュニティ活動等の実態を把握するため、農村集落調査を実施。
- (3) 「地球温暖化対策推進大綱」、「バイオマス・ニッポン総合戦略」等の的確な推進に資するため、製材工場、木材チップ工場等を対象に、木質バイオマス（樹皮、おがくず、端材等）の未利用資源の発生量、利用状況等を把握。

3 消費者重視の食料供給・消費システムの確立に資する統計の実施

- (1) 食生活指針に基づく施策の展開に資するよう、家庭及び外食産業における食料消費・食品ロス、食品産業の食品廃棄物等のリサイクルの実態を把握。
- (2) 食の安全・安心を確保するための施策の推進に資するよう、食品関連企業を対象に、トレーサビリティシステムの実施・導入状況の実態及び運用上の課題等を把握。
- (3) 流通の多様化や国際化に対応し、卸売市場流通のみならず市場外等の流通実態を明らかにするため、青果物、水産物及び畜産物の主要品目ごとに生産から小売に至る物流の全体像をローテーションで把握（17年度は畜産物の調査を実施）。

4 アウトソーシング、ITの活用等による統計業務の効率的実施

- (1) 農林水産統計のアウトソーシングを一層進めるため、
- ①「登録調査員調整管理システム（仮称）」を構築し、調査員の確保、適時に活用するための調整管理を行うとともに、調査の的確な実施のための研修を実施。また、調査員調査化に伴う調査票の簡素化、調査員の効率的な指導方法等の課題を検討するための試行調査を実施。
 - ②民間会社等が行う農林水産関連調査について、調査手法、調査項目等の情報収集を行い、その結果の分析等に基づき郵送調査に適応した調査票の設計マニュアルを作成。
- (2) ITの活用による業務・システムの最適化を図り、業務の一層の効率化を図るため、「電子政府構築計画」に基づき、農林水産省共同利用電子計算機システム等について最適化計画を策定。

[担当窓口課：大臣官房統計部管理課（03－3501－3724（直））]

政策ニーズに即した統計調査の実施

